

令和4年もまもなく終了です。今年の活動を紹介します。

たくさんのご協力がありました。 **3つのきょういく応援団の活動**

活動した日	協働活動内容	協働した応援団の方々
4月 6日	町内 見守り声掛け	新入学児童の見守りを中心に、各種団体のご協力がありました。 ◆安全な登校ができるように多くの人に見守って頂いています。
5月 6日	美幌中桜の植樹	全校生徒。協議会委員+桜の名所をつくる会2名+応援団 ◆桜の名所をつくる会の指導を受けながら活動しました。
5月25日	北中校舎周辺清掃	全校生徒。協議会委員4名+ナルク美幌5名+個人応援団4名+CN ◆運動会前の校舎周辺清掃で駅付近の道路も含めてゴミ拾いをしました。
5月～6月	美幌小 手話体験	※残念ながら、コロナ感染拡大の恐れで、活動中止となりました。
6月 9日	東陽小ひまわり植樹	全校児童+東陽小コミスク委員 ◆コミスクの方も含めてひまわりロードに全校児童で植えました。
6月20日	美小裁縫学習支援①	① 裁縫応援団2名 ◆玉結び・玉留め、なみ縫いや返し縫など基本的
7月 1日	美小裁縫学習支援②	② 裁縫応援団2名 な縫い方を、2週にわたって活動しました。
7月21日	旭小コマの体験	5年生に日本各地・世界のコマの紹介 応援団2名+CN ◆世界各国のコマや日本各地のコマを紹介した後、いろいろなコマを回してみました。（コマは、網走市立西が丘小学校から借用しました）
7月23日	北中周辺ごみ拾い 旭小周辺ごみ拾い	応援団登録後：明治安田生命美幌営業所の皆さんによるごみ拾い 2つの学校の周辺を、2グループで作業が行われました。
9月 2日	美中校区内清掃	全校生徒+協議会委員4名+ナルク美幌5名+応援団4名+CN ◆生徒会主催で美中校区内の広い範囲のごみ拾いをしました。
11月18日	北中ボランティア部 赤い羽根共同募金	北中ボランティア部+ナルク美幌3名+応援団1名 ◆ボランティア部員と応援団が協働して募金活動を行いました。
12月1日	箏と尺八の合奏 雅楽楽器の紹介演奏	① “春の海”の演奏と楽器紹介 芳游会+尺八・・・外部に依頼 ② “越天楽今様”の演奏と雅楽楽器の紹介・・・応援団 ◆お箏3弦教室の芳游会と遠軽の尺八の先生、応援団登録の方にお願 いしました。

【写真】



◆4月の入学式 美幌小学校前



◆【美幌小】裁縫教室



◆【北中】いざ校舎周辺清掃



◆【東陽小】ひまわり種植え



◆【美幌中】桜の植樹





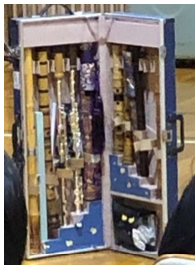
◆【旭小】コマの体験学習 回せるかな？



◆【明治安田生命美幌営業所の皆さん・・応援団に加盟】
北中前・・ゴミが少ない 旭小横 きれいだね



◆【美幌小】春の海 たくさんの尺八



◆越天楽今様 あまり見る事のない雅楽の楽器



コロナ禍での3つのきょういく応援団活動のほかにも 地域と一体となった地学協働活動がありました。

① 1日防災学校の開催

この写真は、北中で行われた一日防災学校のもので、NHK がこれまでの集約している災害状況を基にした講演を聴きました。



東日本大震災、台風の大雨による洪水の状況などを動画再生で再確認しましたが、今回は、新たなAI技術を駆使して、体育館に並んでいる生徒自身に水が押し寄せてきた状況を

体験しました（本当に水の中にいるようです）。小学校では、規模は違いますが、防災かるたによる災害の様子確認、非常食体験、段ボールベッドの作成と体験、津波や地震の模擬体験（气象台）消防車や救急車の装備品学習などが行われるようになりました。（火災や地震に関する避難訓練も行っています）

◆地域によっては、これらの防災訓練を地域住民と一緒に避難したり、避難所で生活するにあたっての約束や取組の役割分担などの確認を実体験して行っているところもあります。（お年寄りの避難補助、避難経路の確認、避難所に保管されている物資の確認など多岐にわたっています）

② 3つのきょういく応援団の登録状況

令和4年度3つのきょういく応援団への参加募集をしましたが、12月現在では以下の通りです。

	ボランティア団体	サークル登録 美助っ人含む	その他の団体	個人登録	
令和3年度	10団体	8サークル+社教	1団体	21人	36部門
令和4年度	10団体	8サークル+社教	5団体	27人	39部門
増減	0	0	+4	+6	+3

新規登録いただいた団体の多くは、地域の中でできることに登録するというジャンルでの登録です。

- ① 「ふらっとホーム さらら」・・・職場体験（接客）、職場の開放（おやきづくりなど）
- ② 明治安田生命美幌営業所・・・地域貢献活動の推進（校舎周辺の清掃、消毒活動など 奉仕中心）
- ③ ゆめとこスクール（どろんこ）・・・パソコンの基本操作、教職員研修、昔遊び、環境整備
- ④ お箏さん弦教室 芳游会・・・琴の演奏、指導
- ⑤ 美幌に桜の名所をつくる会・・・桜の苗木植樹を毎年行う。美中の植樹への協力

③ 学校運営協議会の開催……役割も重要

令和4年が終わろうとしています。市内5校の学校運営協議会がそれぞれ開催されています。ワクチンの接種率が上がっているにも関わらず、コロナの感染は、子どもたちの学校生活にも大きな影響を与えました。学級内での陽性者の拡大による学級閉鎖や学校閉鎖が全ての学校で行われました。教職員からも陽性者も出て授業のやりくりにも大変苦労していました。これらの影響もあり、学校運営協議会もなかなか開くことができない中でしたが、下記のような内容で開催されました。（これからの予定も入れてあります）

< 各学校の学校運営協議会の開催状況 >

開催状況	開催日	主な協議したこと
美幌小	8月22日（月）	学校運営協議会の説明、学校の現状と課題、学校経営の基本方針
	9月21日（水）	学校の現状報告、協議会委員の学習会
	11月8日（火）	令和5年の学校経営方針の骨子、他市町の事例、学校評価、要望
	1月19日（木）	※開催予定
東陽小	10月11日（火）	学校の現状（ランドデザイン、児童の様子、職員の様子） 保護者アンケートの結果、全国学力学習状況の結果
	12月22日（木）	子どもの読解力の育成について、東陽小スケートクラブの運営
旭 小	9月28日（水）	経過報告、ランドデザインの説明、前期学校評価、 全国学力学習状況の結果、その他
	2月予定	※開催予定
美幌中	5月19日（木）	学校教育目標の見直し、部活動の現状と課題、今後に向けて
	10月12日（水）	美中の活動、学校評価、教育目標の改訂、部活動、その他
	1月17日（火）	※開催予定
北 中	8月 5日（金）	一学期の教育活動、学校評価から、全国学力学習状況の結果
	12月予定	※開催予定

4月に新たな委員として任命された協議会委員さんも、“学校運営協議会とは、何をするとところ？”“協議会委員の仕事と責任は？”“どんなことができるのか？”など、わからないことも多いという声もききました。

そのために、学校運営協議会連携会を開いて学習会をしてはと検討しましたが、多くの人が集まることを避けたか、委員さんの都合をつけるのが難しい状況で、開催には至りませんでした。

学校が持っている課題については、校長が学校評価の反省を踏まえた経営方針の中で、説明されるの解決に向けて情報を共有し、具体的な取り組みについて熟議を重ね、それぞれの学校運営協議会として“誰が”“いつ”“どんな活動で”解決に向かうのか、まさに<学校（校長はじめ教職員）><地域（いろいろな組織）><家庭（保護者）>が一体となって取り組む母体となることが期待されています。

トライアル（挑戦）< 論より実行 > していく

先日行われた「地域と学校の連携推進協議会」の講演の中で、講師の方から、今、社会全体の構造が変化しており、学校も変わる時である。日本は、課題となる点が山積しており、現状をしっかりと押さえて日本は、活動することが必要なのです。

まず大きな要素として、① 人口が減少し経済も衰退している。② 食料自給率は、先進国中で最低であり、③ エネルギーも自給率が低い。……ある資源は、「人材のみ」……ゆえに、教育の質の向上は必須です。！！との話がありました。

ちょっと一休み・・・

- ◆子どもたちに多様な経験をする機会は、学校の教育課程が決まっている以上何でもできるわけではありません。かつての「教える教育」は、現在は、「自ら学ぶ」学び方を身につけるところに代わってきています。児童生徒が、基礎的・基本的な知識や技能の習得を含め、学習内容を確実に身につけていくことができるように個別学習やグループ学習、繰り返し学習、習熟度に応じた学習、興味関心に応じた課題学習などを学習活動に取り入れ、学校では指導方法の工夫、指導体制の改善などで「個に応じた指導」の充実を図っています。
- ◆これらの取り組みには、GIGA スクール構想によるICT環境が整えられ、タブレットを使用した学習も進められています。この、「個に応じた指導」を充実させるためには、先生方の学ぶ時間、準備する時間を確保することが重要な課題です。
- ◆「教師の働き方改革」は、教師が楽をするためではなく、個に応じた指導を行うために必要な取り組みであることを知る必要があります。教師も学ぶ時間や考える時間が必要であり、この時間が子どもに帰っていくのです。
- ◆家庭に戻った子どもたちの活動計画は、家庭内でつくることが求められています。24時間の一日をどのように過ごすか、長期休業は、みんなが話し合うよい機会です。学校からタブレットを持ち帰って学ぶことができるようになるけれど・・・ゲームやスマホばかりで一日過ぎていく（ボヤキ）よりも、してもよいけれどルールを決めてさせてほしいものです。
- ◆これからの課題として、生徒数（部員）が少なくなって、部活動ができなくなる対策として地域に移行する話や指導者の確保問題、場所や経費の問題など解決しなければならない問題がでてきます。これは、学校の問題としてではなく、地域に住む子どもたちの問題として、みんなが知恵を出し合うことが必要な課題です。

子どもたちの＜居場所＞は、どこに???

◆冬休みもコロナ感染拡大防止とインフルエンザ感染防止を！

美幌町内でもコロナ感染が広がり、すべての学校で学級閉鎖や学年閉鎖の措置が取られました。感染しても大したことはないよ！という声も聞きますが、その程度は個人により様々です。

中には、感染後に体調不良になり、長い間味覚や聴覚がおかしくなったり、ぜんそくのような症状が続いた人もいますので、注意するに越したことはありません。

冬休みに入ると、クリスマス、お正月と子どもたちも楽しみにしている季節が来ます。マスクも「適切な対応」をするよう呼びかけられていますが、インフルエンザも流行の恐れがあります。元気で楽しい冬休みが送られるよう気をつけましょう。



- ◆美幌町の各学校で行われているICT活用の学習成果が上がっている様子が見られます。学習中に、タブレットをスムーズに使いながら自分の意見を入力したり、友達の意見を見たりと学習の状況が変化していることを実感します。



- ◆学校のタブレットも持ち帰りして使えるようになりますが、タブレットやスマホ、ゲームに熱中しすぎて眼精疲労など起こさないように適切に使用してください。



令和4年は 3つのきょういく応援団並びに学校運営協議会にご協力

いただきありがとうございました。皆様 よいお年をお迎えください

学校運営協議会たよりは、[美幌町ホームページの教育委員会／小中学校からのお知らせ](#)でも閲覧できます